

### ◎金婚式の祝辞を頂いての所感

4組 徳田 昭二郎

昭和14年に倉敷工業高校が新設校として設立されました。当時尋常6年生だった私はその倉工へ昭和15年の入試を目的にして努力しなければなりません。一心不乱の日々を送り、やっと望みがかないました。

2年生、3年生になる頃から海軍兵学校に行くつもりで猛勉強に邁進しましたが、これからは航空決戦の時代という気運が高まり、私も意を決して親に無断で甲種飛行予科練習生を志願し、パイロットを目指して軍人生活が始まりました。

5,500人が昭和19年4月1日、松空の隊門をくぐった戦友が、今では音信の通じる人が100人足らずとなり、2ヶ月に1回の昼食会への出席者は15人足らずとなりました。

天から授かった命の尊さを、しみじみと毎日お礼の気持ちで過ごしています。76歳の現在までの人生が、心に深く焼きついています。

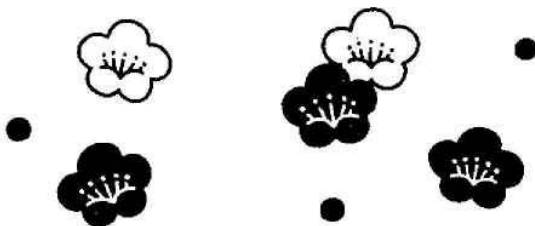
考えてみると19歳で敵艦に体当たりして靖国神社に行っていたはず。それが金婚式のお祝いなど夢です。昔は人生50年と言っておりましたが、私のように19歳で桜花と散り行く覚悟をした者には夢のまた夢でした。

私は常に座右の銘として

ひとしなも、もたで生まれし、吾なれば  
不足ということ、世になかりけり

毎日心に念じております。余生は夫婦共々に元気で、世のお役に少しでも立ち、喜んで頂けるよう努力したいと思えます。

金婚式を祝してくださった山陽新聞社の方々に心からお礼申し上げ、亡き戦友の分までこの幸運を喜ばせて頂きますよう、天地の大神様にお誓い申しあげまして所感と致します。



### ◎古都京都への旅

4組 和氣 睦子

私達、田中野田町内会婦人部は、32人程で1月23日に古都京都への親睦旅行をして参りました。午前7時半に田中野田を出発し、最初の目的地嵐山へは交通渋滞により1時間以上遅れ、とうとうバスは途中で立ち往生してしまいました。

幸いにして和氣観光さんの珍しいトイレ付きバスのおかげでお笑いありの雰囲気となり皆さんの気持ちも少し和んだように思えます。

昼食の予定場所より15分ほど手前でバスを降り、徒歩でやっと到着したものの、渡月橋周辺の行楽客の多さには大変驚きました。

急いで食事を頂き、皆さん何かお土産も買うことが出来たのではないのでしょうか。そして次の目的地仁和寺へとバスを進め、東門より入って豊かな緑に包まれた境内をさらに進むと国宝の金堂が気品のある姿で私達を迎えてくれました。

そして重要文化財の建物が建ち並び通路の左右は赤や黄色の紅葉が目を楽しませてくれました。

9万平方メートルの境内には門跡寺院の見事な風格が感じられ、優雅であてやかな襖絵の御殿等々、さすがだなあと関心ひとしきり……。

秋の京都を心ゆくまで楽しませていただき、無事に帰途に付きまして。これもパルツアーさん始め、和氣観光さん、そして田中さん他幹事さん皆さんのおかげで楽しい一日を過ごさせて頂きありがとうございました。私だけでなくきつと思いついた一頁として皆さんの心に残ることと思えます。

感謝しながら家路へと急ぎました。

#### ♪バス旅行

